

むつみ

| | |
|-------|-------------------------------|
| 初刊発行日 | 平成 11年5月 |
| 発行日 | 平成 27年3月25日 第23号 |
| 発行 | 社会福祉法人足利むつみ会 |
| 住所 | 栃木県足利市利保町49-4 |
| 発行責任者 | 阿由葉 寛 |
| 電話 | 0284-43-0414 FAX 0284-41-4687 |

「歩み続け、さらに前へ」

社会福祉法人足利むつみ会理事長 阿由葉 寛



平成26年度は本当に法人の記念となる1年ではなかったかと思えます。足利市から福居保育所の民営化を受託した、『ふくい保育園』が4月に開園しました。これにより、障害、高齢、児童の総合的な事業を実施する法人となりました。

11月23日には、法人設立30周年の記念式典を実施しましたが、そのために1年前から実行委員会を組織し、準備を進め、30周年の記念誌も作成することが出来、関係各所へ配布させていただくことが出来ました。

そして、12月6日に『キッズピアあしかが』をオープンすることが出来ました。そこで仕事をしていただくために11月から社会就労センターきたざとに就労継続支援事業A型を設置させていただきました。法人として雇用の場を設置することが出来た

ことにより、ご本人の希望を確認し、B型から2名のかたを、就労移行から1名のかたをA型事業所で雇用させていただくことが出来ました。皆さん、本当に頑張って仕事をしていただいています。キッズピアあしかがの入場料収入の一部とフードコートの売り上げ収入がお給料になります。売上を上げるためにも、是非、キッズピアあしかがのフードコートで子供達の遊ぶ姿を見ながらお茶を楽しんでいただければと思います。

『キッズピアあしかが』は足利市が公募をした「足利市屋内子ども遊び場設置運営事業」に応募をし、当法人が実施をさせていただくことになったものですが、当法人としてはこの事業を低額で利用させていただくことが出来るようになればとの思いから社会貢献事業として、公益事業で実施をさせていただくことにしました。経営は大変ですが、子どもたちの笑顔のために法人全体で支えて行かなければなりませんので、よろしく願いいたします。

私達は、『社会福祉法人』だから出来ること、やらなければならないことを考え具体化していくために、尚一層の努力をしていかなければなりません。これからも皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

セルプみなみ

◎管理者挨拶◎

セルプみなみ管理者 近藤 照夫

この冬は暖冬といわれていましたが、寒の入り前の12月から寒い日が続き、寒冬になったようですが、日増しに春を感じられるようになり、作業活動も順調に推移しています。

これもひとえに、皆様の温かいご支援、ご協力の賜と深く感謝申し上げます。

さて、当事業では、クッキー等の製造・販売や軽作業を通じて、毎日楽しく、いきいきとやりがいを感じられるよう支援に努めています。セルプみなみが利用者にとって必要不可欠な事業所として、社会性を育み、生きがいとやりがいのある自立した生活を営めるよう引き続き支援してまいりますので、よろしくお願いいたします。

クッキー製造作業は、生地作り作業、成形作業、天板に成形品を並べる作業、焼き上げ作業、製品を袋詰めする作業、封をして表示シールを貼る作業の作業工程に分かれ、取り組んでいます。



〔焼上前作業〕



〔袋詰め作業〕



kitazato 社会就労センターきたざと

社会就労センターきたざとに、11月1日より就労継続支援事業A型を新設しました。就労継続支援A型事業とは、「就労の場」を提供する事業です。雇用契約に基づく就労が可能である者に対して行う雇用契約の締結等による就労の機会の提供および生産活動の機会の提供その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の必要な支援事業になります。現在4名の利用者の方々が「キッズピアあしかが」で場内業務補助、SHOP販売業務・補助の仕事についております。

★「キッズピアあしかが」★

(株)ポーネルト社が手掛けた子どもから大人まで、こころ・頭・からだを思い切り使って遊べる屋内子ども遊び場になります。

施設内は、「アクティブゾーン」「ロールプレイゾーン」「ボールプールゾーン」「サーキットゾーン」「ベビーゾーン」の5つのゾーンに分かれており、子どもの発達段階に合わせた各種遊具は、十分体を動かす「動の遊び」と、じっくり遊びこむ「静の遊び」の両方が共存しており、遊びを通じて子どもの体力・知力の発達を促すとともに、子育て世代を含めた多世代の交流の場となっております。



セルフ絆

きずな

◎ ジョブサポート絆 ◎

外部講師による講話



社会適応訓練の一環で、有楽町交番の所長さんをお招きし、金銭管理などの講話をいただきました。

研修生による支援の様子



インドネシアからの研修生を受け入れました。学習の採点などの訓練を通し、異文化にもふれる有意義な機会となりました。

◎ Peterpan ◎

出張販売の様子



ご来店をお待ちしております!!



外部販売を拡充するため、今年度から県立足利女子高等学校の昼休みにパンの販売を行っています。学生、教職員の皆様に大変喜ばれており、ピーターパンの利用者、職員一同の大きな励みとなっています。

今春からは移動販売車を新たに導入し、新たなスタイルで販売を強化していく予定です。

◎ 管理者挨拶 ◎

社会就労センターきたざと・セルフ絆 管理者 阿由葉 寛

自主製品の開発、企業からの受注など、ご利用者の給料（工賃）を上げるために何をすればよいのか？ 本当に大変なことですが、現場の職員はもちろん、法人の役職員、関係者など、みんなで考えて行かなければなりません。それは法人の全事業所の職員が同じ意識を持つこと、すなわち自分の所属する事業所だけでなく、法人全体をさらに良くしていくという意識を持つこと、と同時に全く違う現場からさまざまなヒントを得ることができるからです。まず、きたざと、みなみ、絆、3つのはたらく事業所の利用者の給料（工賃）をどのように上げて行くのかを考えることからスタートしたいと思いますので、合同の計画づくりを進めたいと思います。

デイアクティビティセンターWIN



外出プログラムを行いました。

平成26年8月から11月にかけて外出プログラムを行い、買い物・食事・フラワーパークに分かれ外出してきました。

みなさん普段施設での生活とは違う体験ができ、楽しい時間を過ごされていました。



日帰り旅行に行ってきました。



10月31日群馬サファリパークに行ってきました。バスからは色々な動物の表情や迫力を見る事ができ、声をあげ喜ぶ利用者もいました。とても楽しめたようでした。

クリスマスパーティーを行いました。



12月13日クリスマスパーティーを行い、ボランティア「ネオ・クレイトーンアンサンブル」によるオカリナの演奏がありました。とても盛り上がりました。

◎施設長挨拶◎

デイアクティビティセンターWIN施設長 阿由葉 弘美

日ごとに暖かさを増し、ようやく春めいて来たこの頃。関係各位の皆様におかれましては、平素より温かいご厚情をいただき深くお礼申し上げます。

昨年12月に法人設立30周年を迎え、たくさんの方々にお支え頂きながら、今日があることを心より感謝申し上げます。

さて、本年度より計画致しました、小グループで行う外出プログラムでは、普段見られないような、利用者の皆さんのとびきりの笑顔やワクワクする様子が伝わり、担当職員一同、計画して良かったと感じました。同じ時間、場所、行動を共有することにより、より一層、利用者の皆さんとの信頼関係が築かれたのでは、と思います。今後も利用者の皆さんに良い思い出となるプログラムを計画し、利用者の皆さんお一人、お一人に寄り添う支援を行っていきたく思います。

終わりに、昨年、相馬野馬追祭りへ行く機会があり、途中、車窓からの民家や田畑の様子が、まだ、復興されていないと改めて感じました。節電など、私たちに出来る事を続けることが、大切なことだと思えます。

特別養護老人ホーム青空



◎施設長挨拶◎

特別養護老人ホーム青空 施設長 阿由葉 誠

春色のなごやかな季節、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のお引き立てをいただき、ありがたく御礼申し上げます。

今年もインフルエンザやノロウイルスが猛威を振るっているようですが、青空では今のところ感染した利用者様はおりません。今後も皆さんが安全で安心して過ごせるよう感染症予防委員会と医務室を中心として介護・事務所共に協力し、インフルエンザ菌等を持ち込まない、広めないよう利用者様と自分自身の健康管理をしっかり行っていきます。

最後になりましたが、今後もより一層のご指導とご協力くださいますようお願い申し上げます。

毎月、講師の田村先生をお招きして、ピアノ演奏やパステル画教室を開催して頂いております。パステル画はやさしい色合いとあたたかい仕上がりが特徴で、毎回楽しみにしております。季節に合わせた、個性豊かな作品が、簡単にできるため、自分で作った喜びも大きいようです。飾ったり、プレゼントしたり、皆さん大満足です。



ピアノ音楽会



パステル画教室



スーパースクエアの皆さん

陸奥部屋



青空秋祭り



大川康彦とハニーズ

縁日



平成26年度 事業活動報告

今年度も青空では様々な行事、季節のイベントを開催しました。また、たくさんのボランティアの皆様楽しいひと時を作って頂きました。平成26年4月より、青空の隣に「ふくい保育園」が開園し、元気いっばいの声が聞こえ、利用者の皆さんの顔も自然とほころんでいます。季節ごとに「縁日」や「敬老会」など様々な行事を行い、お互いに行き来することで、高齢者と園児と一緒にふれあい、交流ができて、とても良い環境となりました。また定期的に傾聴ボランティアの方にも来て頂いており、会話に花が咲いています。来年度も更なる試みを検討しながら、より楽しい毎日を過ごして頂けるように努めたいと思います。今後とも皆様のご理解、ご協力をお願い致します。



ふくい保育園



園長 新藤せつ子

春は名のみこの季節、雪降る景色を目の当たりにして、まだまだ寒さを感じるこの頃です。しかし、頬を渡る風に優しい温かさが加わり心はずむ季節になりました。開園して1年目の年、何かと緊張の連続ですが、子ども達とのやり取り「先生大好き！」の言葉に1日の疲れが吹き飛んでしまいます。

そして、足利むつみ会の法人関係者や地域の皆様の温かいご支援、保護者の皆様のご協力や子ども達の可愛い笑顔と明るい声に励まされながら、ときには心癒されて、自然に恵まれた素晴らしい環境の中で今日を迎えることが出来ています。子ども達の成長を身近に感じ、日々進歩していく106人の幼気なパワーを感じながら前進して参りたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



親子ふれあい運動会

H26.10.4
晴天のもと、第1回運動会が行われました



ハロウィンパーティ

H26.10.31
ハッピーハロウィン!トリックorトリー
お菓子はもらえたかな?



魔女は誰?

芋煮会&お楽しみ会

H26.12.10
すいとん汁を作って食べました



行事あれこれ

リトルフェスティバル

H26.11.15



クリスマス会

H26.12.19
フィンランド?から
やってきたサンタさん
にお土産もらって大喜びの
子ども達でした



生活発表会

H26.12.6

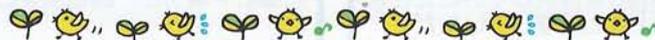


可愛い衣装を身に着け、大勢のお客様の前で歌ったり踊ったり…アイドルになったようなひと時でした



パントマイム

H26.12.22
不思議な世界にみんな
引き込まれました



ふくい保育園がスタートして早1年…。楽しい行事がいっぱいの明るいふくい保育園です。一つ一つの行事を保育士自ら楽しみ、毎日笑い声が絶えません。時々には保育園に遊びに来てください。今日もどこかで楽しそうな声が…。きっとハッピーな気持ちになること請け合いです。

グループホーム

グループホームでは、イベントごとにいろいろな食事メニューを提供して利用者の皆さんに楽しんでいただいています。2月3日の節分の日には恵方巻を提供しました。お寿司が好きな利用者さんが多いこともあって大好評でした。



誕生会では、その月に誕生日を迎える利用者さんの好きな食べ物を聞いて提供しています。今回は、お寿司とケーキを提供してお祝いをした時の様子を紹介します。



放課後等デイサービス ビタミンクラブ

今年度も利用者の皆さんの生活面の支援と社会性を養うため、色々な活動や支援を行ってきました。毎日利用者の楽しい声と笑顔がいきかい、職員も利用者の成長を身近に感じながら、日々怪我など無い様に安全に過ごせるよう努力をしてきました。来年度も怪我などに気を付けながら利用者が楽しく過ごせる環境を作りながら、職員一同がんばっていききたいと思っています。



日中一時支援事業 スマイル

日中において活動場所が必要な障害児者を対象としたサービスで、活動する場を提供し、見守り及び社会に適應するための日常的な訓練を行うとともに、障害児者を持つ家族の就労支援と日常的に介護している家族の一時的な休息支援を行なってきました。また、タイムケア等も行ってご家族の負担の軽減にも役だっただけのようにしてまいりました。



お知らせ

夢大作さんより、今年もたくさんのみかんを頂きました。ありがとうございました。



YMCA様より、かぼちゃを頂きました。利用者の皆さんで美味しくいただきました。ありがとうございました。



昨年の9月29日、中華料理生活衛生同業組合様より、ラーメンとカレーライスを約175食提供していただきました。午後にはピンゴゲーム大会も開催していただき、ありがとうございました。



今年も陸奥部屋の皆様が施設を訪問してくれました。記念撮影や綱引き、腕相撲などで、とても盛り上がりました。



1月24日に新年会を行いました。瀧川佳宏さん、「喜美英会」の皆さんに和太鼓、和楽器演奏、エイサー踊りや八木節などを披露していただき、利用者の皆さんもとても楽しまれました。



26年9月22日から27年1月21日の4ヶ月間、アジア社会福祉従事者研修生としてサニア・プテリ・ラマダニさん（インドネシア）が、当法人で研修されました。各事業所の利用者、職員にとって貴重な異文化交流の機会となりました。



共同募金会 配分事業完了のお知らせ

栃木県共同募金会の平成26年度災害等準備金の取り崩しによる配分金の決定を受けて、次の事業を完了しましたのでお知らせします。

- ・配分事業名 訓練室空調設備更新工事
- ・配分金額 1,380,000円
- ・実施場所 栃木県足利市利保町49番地4 ビタミンクラブ
- ・完了年月日 平成26年9月16日

社会福祉法人足利むつみ会 理事長 阿由葉寛



両毛圏域障害者就業・生活支援センター

平成26年度1月までの実績件数

| 登録者数 | 支援件数 | 訓練実習件数 | 就職者数 |
|------|------|--------|------|
| 618 | 1334 | 41 | 60 |

今年度、両毛圏域障害者雇用支援合同会議 就労支援部会にて、アセスメントスキルアップ研修を2回実施しました。栃木障害者職業センターの主任カウンセラー 野口 恵氏を講師に迎え、ストレスアセスメントシート(MS F A S)の活用について学びました。アセスメントシートとはストレスや疲労を把握し対処方法を検討するために作られたツールで、様々な場面での感情の振り返りを行う事で、ストレスサインの気付きや対処方法の獲得、支援者との信頼関係の形成に効果があるものです。実際に参加者もシートを使用し自身の事を整理すると、思考の癖などに気付いたり、ツールの効果を実感することが出来、今後の支援に役立てていきたいと思いました。

来年度も、よりよい支援に繋がるような研修や行事を企画し、関係機関と共有しながら支援の幅を広げていけたらと考えています。

足利市真砂町1-1 安足健康福祉センター内 0284-44-2268

足利むつみ会足利障害者相談支援センター

・通常の相談業務及び事業利用のためのプラン作成、申請の支援、年金・手帳等の各種申請支援の他、以下のような事業を行いました。

- ・ケア会議主催。自立支援協議会内で関係機関から問題事例をあげてもらい、地域課題を検討。
- ・特別支援学校・小中学校特別支援学級、幼稚園・保育園の相談会・勉強会にて講義、相談。
- ・教育機関と連携し、成長過程における各段階を繋げるネットワークの構築を図り、子育て応援ファイル等の普及に協力。
- ・安足地区障害者相談支援事業者等連絡会に参加し、安足地区における指定相談支援事業所と情報交換を行う。
- ・地域自立支援協議会の運営に事務局として協力、地域生活、児童の3専門部会の活動を展開、足利市障がい者プランに意見を提出。
- ・アピタ・市役所・小中学校特別支援教育手をつなぐ親の会県大会足利大会においてハートショップ開催。
- ・とちぎリハビリテーションセンター、県南児童相談所の出張判定に協力。

指定特定相談事業・指定障害児相談支援事業・利用プラン作成

困った時にはすぐご連絡を！ ☎0284-44-0307 (電話相談24H、365日対応)

相談支援専門員 尾澤まで